

課 長	係 長	精 算	設 計	浄 書
-----	-----	-----	-----	-----

平成 29 年度

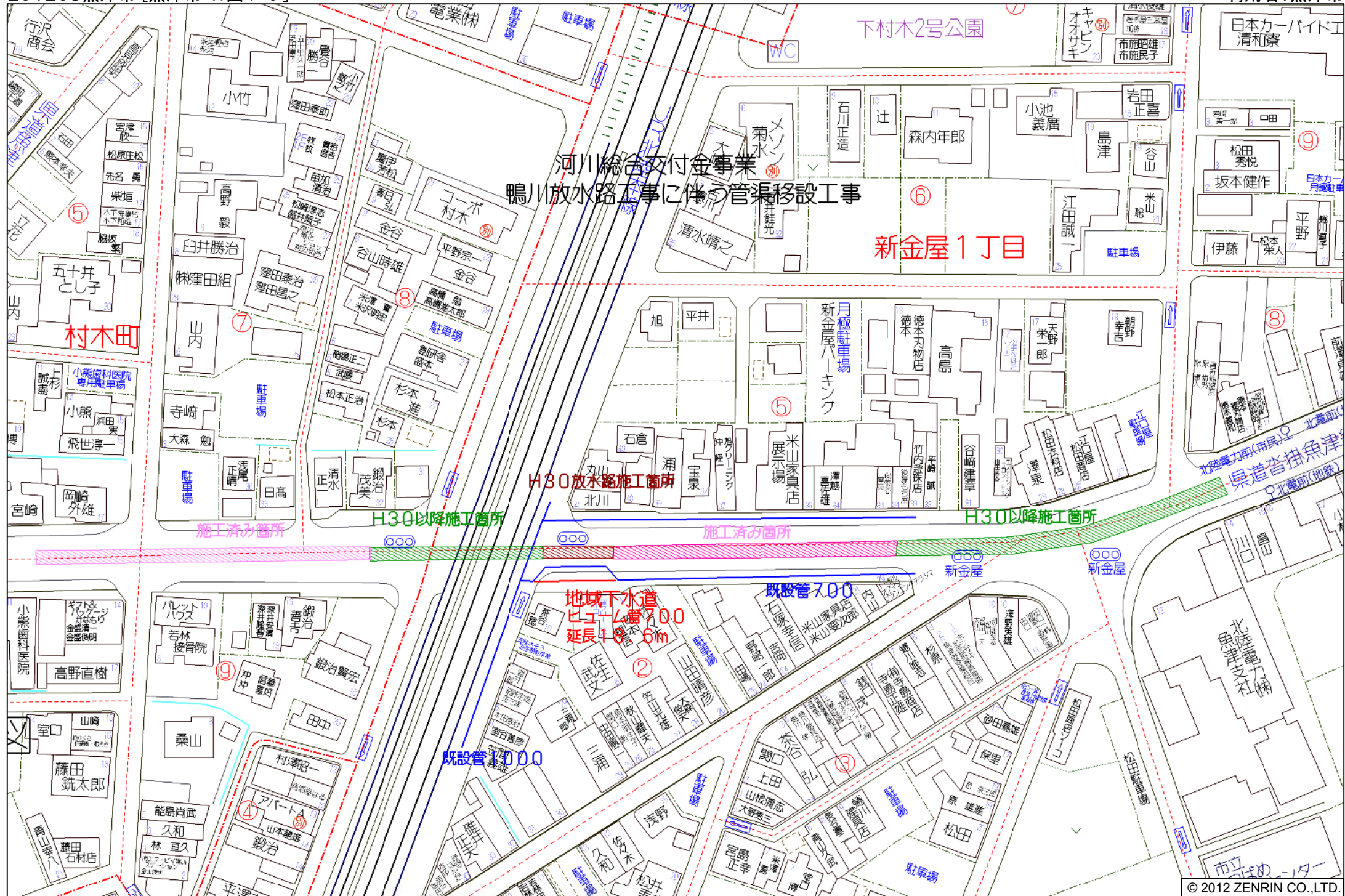
金 抜 設 計 書

河川総合交付金事業

鴨川放水路工事に伴う管渠移設工事 設計書

施工箇所 魚津市 新金屋一丁目 地内

魚津市上下水道局下水道課



特 記 仕 様 書

河川総合交付金事業
鴨川放水路工事に伴う管渠移設工事

第1章 一般関係

第1条 適用

当工事は、契約書、設計図書、本特記仕様書、土木工事共通仕様書（富山県土木部制定 以下、「共通仕様書」という。）等に基づき施工するものとする。

なお、共通仕様書等内の「富山県土木部」は「魚津市上下水道局」と読み替えるものとする。

第2条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目については、共通仕様書第1-1-5条 施工計画書の記載事項として「(4) 安全管理」に含め、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全教育・訓練等の具体的計画を作成し、監督員に提出するものとする。
- 3 安全教育・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第3条 地場産品の優先使用

当工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品を優先使用するものとする。

第4条 工事材料の確認

- 1 当工事で使用する以下の主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。
確認対象材料：管材、各種マンホール、マンホール用鉄蓋 等

第5条 アスファルト混合物

当工事で使用するアスファルト混合物は、再生材入りアスファルト混合物とする。

ただし、上記により難いときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第6条 コンクリート配合

当工事で使用する生コンクリートの使用目的別の配合諸元は次表のとおりとする。

号番	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m ³)	セメントの 種類	使用目的
1	18	8	40	65以下	—	B・B	マンホールインバート
2	18	8	25	65以下	—	B・B	調整コンクリート
3	18	8	40	65以下	—	B・B	基礎コンクリート

第7条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は、第6条 コンクリート配合を遵守すること。

なお、指定した呼び強度に対して、水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第8条 路盤工（人力施工）

粒度調整路盤材の敷均しにあたっては、材料の分離に注意し、一層の仕上がり厚が15cmを超えないように締固めなければならない。

第9条 下請関係の適正化

当工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を厳守すること。

第10条 産業廃棄物の適正処分

当工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第2章 工程関係

第11条 工程関係

工事着手前に地下埋設物等の支障物件について調査し、監督員に報告すること。

なお、当工事の施工に支障がある場合は、施工方法、工程等について監督員と協議すること。

第3章 公害対策・環境対策関係

第12条 路面汚損の防止

当工事の建設発生土等の搬出にあたっては、公道等の路面汚損防止に努めなければならない。

なお、路面汚損が発生した場合は、速やかに清掃・補修等を行うものとする。

第13条 粉塵の防止

当工事で使用する運搬路等については、粉塵により公衆に迷惑を及ぼすことのないよう必要な対策を講じなければならない。

第14条 事業損失の防止

当工事の施工に伴う騒音・振動・地下水の変動等により近隣家屋等に影響を及ぼす恐れがある場合は、監督員と協議の上、事前・事後調査を行うこと。

第15条 施工機械

1 当工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・ バックホウ ・ トラクターショベル（車輪式） ・ ブルドーザ ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 ：油圧ハンマー、バイプロハンマー、油圧式鋼管圧入引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ ローラ類（ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ ラフテレーンクレーン 	<p>ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5kw 以上 260kw 以下）を搭載した建設機械を対象とする。</p>

2 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書（共通仕様書 施工計画書 指定機械）の中で、(1)機種、(2)メーカー名、(3)型式、(4)台数等を記載するものとする。また、「指定ラベル」が確認できる工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りでない。

第4章 安全対策関係

第16条 交通安全対策

当工事の施工にあたっては、交通整理員を2名配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。また、施工途中の歩道箇所については、仮囲い、注意看板及び赤色灯等を設置し、車道の箇所については敷鉄板または仮舗装復旧にて開放し、一般交通の安全を確保するものとする。なお、段差のある箇所については、一般交通に開放してはならない。また、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合は、別途協議により変更する。

第17条 他の占用物件に関する安全対策

当工事施工にあたっては、施工区域内にある他の占用物件について事前調査・確認を行い、その結果を監督員に報告すること。また、これら占用物件に近接して工事を施工する場合は、占用物件管理者の立会いを求めると共に防護措置等について十分協議するものとする。

第18条 過積載防止対策

工事資材等の搬入搬出にあたっては、道路交通法及び道路法を遵守すると共に、施工計画書に過積載防止対策を記載し、これを履行するものとする。

第19条 掘削箇所の安全対策

管路等の埋設のために掘削を行う場合は労働安全衛生法等を遵守し、土留工（木矢板、軽量鋼矢板、建込簡易土留）等の設置により労働災害の発生防止を図るものとする。

第5章 建設発生土・建設副産物関係

第20条 建設発生土の処分

当工事の発生土は、黒部市枕野地内の公共用残土仮置き場に搬入すること。

なお、当該施設に搬入されていることが確認できる書類（搬入伝票等）の写しを監督員に提出すること。

第21条 建設リサイクル法の対象工事

- 1 当工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、「建設リサイクル法」という。）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 請負者は、建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・ 解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・ 新築工事等である場合は、使用する建設資材の種類
 - ・ 工事着手の時期及び工程の概要
 - ・ 分別解体等の計画 ・ 解体工事である場合は、解体する建築物等に用いられた建設資材の量の見込み

- 3 当工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に添付する「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

表－1 再資源化等を行う特定建設資材廃棄物の種類、施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化施設		
	名 称	所 在 地	備 考
アスファルト塊	金山産業(株)	滑川市 笠木	
コンクリート塊	金山産業(株)	滑川市 笠木	

なお、伐採木は特定建設資材にあたらぬ。

上表については積算上の明示条件であり、再資源化施設を指定するものでない。

また、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、施設の受入が困難な場合等、請負者の責めによるものでない事項についてはこの限りでない。

- 4 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」に定めた様式1「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式2「再生資源利用促進計画書（実施書）」を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化を行った施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

- 5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）の写しを監督員に提出するとともに、運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書の写しを監督員に提出するものとする。

第22条 再生砕石の利用

基礎砕石、埋戻材及び下層路盤材には再生砕石（RC40）を使用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準(案)」に基づくものとし、修正 CBR は 30%以上とする。

なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議の上、新材に変更できるものとする。

第6章 工事支障物件等

第23条 工事支障物件等

1 当工事施工区間には以下の占用物件があるため、施工にあたっては立会い、防護措置等について占用物件管理者と十分打合せを行い、その結果を監督員に報告するものとする。

・排水暗渠 ・上下水道管 ・電柱等

第7章 その他

第24条 管路埋戻

路床部、路体部の埋戻において一層あたりの転圧厚さが 20cm を超えないように締固めなければならない。締固め度が 90%程度以上に保たれるよう施工管理すること。現場密度試験により締固め度の確認を行う。

第25条 マンホール等仕上がり高

当工事において施工されるマンホール等の仕上がり高は、車道部にあっては復旧路面高-10 mm以内、歩道部にあっては復旧路面高とする。

第26条 舗装復旧

路盤工施工後は速やかに舗装復旧を行い、粉塵対策及び一般交通の安全確保に努めるものとする。

なお、当工事の施工により設計図書に明記してある部分以外について舗装を損傷した場合は、すべて請負者の負担で原形復旧すること。

第27条 損失補償

当工事の施工に伴い、家屋など第三者に被害を与えた場合は、請負者の責任により補償するものとする。

第28条 不可視部の段階確認

監督員が別に指示する箇所（測点）の不可視部については、以下の段階において監督員の確認を受けた後でなければ次工程の施工を行ってはならない。なお、段階確認については、書面をもって監督員に申し出ることとする。

監督員が確認する施工段階：管路基礎工、管路布設、埋戻、路盤工、その他監督員が指示する施工段階

第29条 出来形管理図（竣工図）作成

施工終了後は、速やかに出来形管理図の作成・とりまとめを行い、監督員の確認を受けるものとする。出来形管理図は完成検査時の受検資料であるとともに、施設の維持管理・更新のための重要な資料となることから、正確で見やすいものでなければならない。

第30条 個人情報

当工事に関する個人情報の取り扱いについては、別紙「個人情報取得特記事項」を遵守し、常に適正なる管理を行わなければならない。

第31条 計画工程表

施工計画書における計画工程表はバーチャート方式又はネットワーク式（PERT）等で作成提出すること。

第32条 家屋の事前調査

家屋調査は、工事に伴う第三者の被害を未然に防止することを目的とし、被害があった場合にはその因果関係の認定資料とするものであり、請負者は下水道管路布設路線において、以下の調査を工事着手前にしておくこと。

- 1 所有者等の調査
- 2 建物概要の調査
- 3 建物の水平調査 基礎天端の水平測定（水準器レベル測定）、測定箇所の写真撮影
- 4 建物の傾斜調査 柱の傾斜測定、水平測定と同様に測定箇所の写真撮影
- 5 建物各部分の状況調査 外壁面の亀裂（クラック）、ちり切れ、浮き、はらみ等の状況の写真撮影
- 6 井戸の状況調査 使用目的、使用実態、位置、出水状況の写真撮影

第33条 ワンデーレスポンスの実施について

- 1 この工事では、「基本的にその日のうちに速やかに回答する」「現場を待たせない」等、現場の問題発生に対する迅速な対応（＝ワンデーレスポンス）の実施により、問題解決の迅速化を図ることとする。ただし、その日のうちに回答が困難な場合は、受注者と発注者が協議のうえ、回答予定日を回答するものとする。
- 2 受注者は、作業間の関連や工事の進捗状況等を把握し、綿密な工程管理に努めるものとする。
- 3 受注者は、工事施工中において協議事項が発生した場合、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督員と協議するものとする。

第34条 疑義

その他、定めのない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

工 事 名	河川総合交付金事業 鴨川放水路工事に伴う管渠移設工事														
工 事 費	金 円也 []														
摘 要 欄	<p>工事概要</p> <table border="0"> <tr> <td>施工延長</td> <td>L = 18.56m</td> </tr> <tr> <td>ヒューム管 φ700布設工</td> <td>L = 17.36m</td> </tr> <tr> <td>2号マンホール設置工</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>付帯工</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>仮設工</td> <td>1式</td> </tr> </table>			施工延長	L = 18.56m	ヒューム管 φ700布設工	L = 17.36m	2号マンホール設置工	2箇所	舗装工	1式	付帯工	1式	仮設工	1式
施工延長	L = 18.56m														
ヒューム管 φ700布設工	L = 17.36m														
2号マンホール設置工	2箇所														
舗装工	1式														
付帯工	1式														
仮設工	1式														

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 魚津市 実施設計書 当初 0 1 実施単価 05 魚津地区 0-29.10.15(0) 1 公共		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 消費税率 (%)	40 18 下水道 (2) 15 1月始～3月末 02 臨時低圧電力 11 一般交通影響有り(2) 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 8		

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
管路									Y1A01	
管きよ工(開削)<管径700mm>									Y2A0101	
管路土工									Y3A010101	
管路掘削									Y4A01010101	
床掘り 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満	27			式 m3					SP2010 0 *	A=1, B=2, C=1, D=2
機械掘削 (バックホウ) バックホウ クレーン1次排対	44			式 m3					S6801 0 *	A=4, B=1
管路埋戻									Y4A01010102	
機械投入埋戻工 再生砕石 RC-40	33			式 m3					S6807 0 *	A=4, B=2, C=1.2

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
発生土処理									Y4A01010103	
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	71			m ³					SP2002 0 *	A=1, B=3, C=1, D=2, E=26
処分費等									#0044	
公共用残土仮置場(搬入)	71			m ³					TST12 0	
管布設工									Y3A010102	
鉄筋コンクリート管									Y4A01010203	
ヒューム管(外圧管1種B形管) φ = 700mm L=2.43m	18			m					T4350 0	
鉄筋コンクリート管布設工 φ 700mm	18			m					S6831 0 *	A=9
埋設標識テープ									Y4A01010215	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
埋設テープ									V3320	0
	17			m						施工 第0-0001号表
管基礎工									Y3A010103	
碎石基礎									Y4A01010302	
機械投入埋戻工 再生碎石 RC-40				式					S6807	0 *
	24			m ³					A=4, B=2, C=1.2	
管路土留工									Y3A010105	
建て込み簡易土留									Y4A01010502	
				式						
建込簡易土留工 建込工									S6821	0 *
	19			m					A=2.68	
建込簡易土留工 引抜工									S6822	0 *
	19			m					A=2.68	
建込簡易土留損料									W0000	
	1			式						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
マンホール工									Y2A0105	
標準マンホール工									Y3A010501	
2号マンホール									Y4A01050102	
組立マンホール設置工 2号(内径1200mm) マンホール深さ4m以下	2			式 箇所					S6985 0 *	A=3, B=7, C=2, D=1, E=1
マンホール設置工(底部工) 組立式	2			箇所					S6871 0 *	A=0.33, B=2, C=0.071, D=1, E=1.61, F=0.044, G=1, H=1
2号 マンホール底版 外径 1450mm H=150mm	2			個					T9352 0	
2号 マンホールく体ブロック 内径 1200mm H=2400mm	2			個					T9364 0	
2号 マンホール斜壁 内径 600-1200mm H=600mm	2			個					T1415 0	
組立式マンホール調整リング 内径 600mm H= 50mm	2			個					T9405 0	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
組立式マンホール調整金具 調整高 45mmまで	2			組					T9411	0
マンホール蓋・受枠 T-25(除雪型) φ600	2			個					V3166	0
2号マンホール用可とう継手 Φ700	4			個					W0000	施工 第0-0002号表
2号マンホール削孔費 Φ700	2			箇所					W0000	
取付管およびます工									Y2A0107	
取付管布設工									Y3A010703	
取付管									Y4A01070301	
取付管布設および支管取付工 市場単価方式 管径150mm	1			式					S6984	0 *
付帯工									A=3, B=2, C=1, D=1, E=1, F=2	
									Y2A0109	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装撤去工									Y3A010901	
舗装版切断									Y4A01090101	
舗装版切断 アスファルト舗装版				式					SP4028 0 *	A=1, B=1
	53			m						
舗装版破碎									Y4A01090102	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等 無し				式					SP4027 0 *	A=1, B=1, C=1, D=3, F=1
	100			m2						
殻運搬処理									Y4A01090104	
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)				式					SP2081 0 *	A=2, B=4, C=2, D=13
	5			m3						
処分費等									#0044	
アスファルト廃材処理費									TAK08 0	
	5			m3						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装復旧工(種別毎)									Y3A010903	
不陸修正									Y4A01090301	
不陸修正 補足材料 有り				式					SP4001 0 *	A=2, B=9, C=3
下層路盤	51			m2					Y4A01090302	
路盤工(人力施工) 路盤厚10cm 歩道				式					S4015 0 *	A=3, B=10, C=5
路盤工(人力施工) 路盤厚10cm 歩道	38			m2					S4015 0 *	A=2, B=35, C=5
路盤工(人力施工) 路盤厚35cm 車道	11			m2					Y4A01090303	
上層路盤				式					S4015 0 *	A=3, B=10, C=4
路盤工(人力施工) 路盤厚10cm 歩道	38			m2					S4015 0 *	A=2, B=27, C=4
路盤工(人力施工) 路盤厚27cm 車道	11			m2						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表層									Y4A01090305	
				式						
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	85			m2					SP4007 0 *	A=1, B=50, C=1, D=2, E=5
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚30mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	15			m2					SP4007 0 *	A=1, B=30, C=1, D=2, E=1
区画線工									Y3A010907	
溶融式区画線									Y4A01090313	
				式						
区画線工（溶融式・手動） 実線・ゼブラ 45cm	1			式					SS002 0 *	A=1, B=4, C=2, E=1
道路付属物撤去工									Y3A010904	
排水構造物撤去A									Y4A01090401	
				式						
構造物とりこわし・運搬 ダンプトラック：10t積級	6			m3					SS093 0 *	A=5, B=1, C=1, D=1, E=2, F=1, G=1, H=1

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
構造物とりこわし・運搬 ダンプトラック：10t積級	1		m3						SS093 0 *	A=5, B=1, C=1, D=2, E=2, F=1, G=1, H=1
処分費等									#0044	
コンクリート廃材処理費	6		m3						TCM08 0	
コンクリート廃材処理費	1		m3						TCY08 0	
防護柵撤去(ガードレール)				式					Y4A01090406	
ガードレール撤去工 コンクリート建込 歩道用 旧Ap・Bp・Cp種 2m	8		m						SS058 0 *	A=8, B=1, C=1
標識板撤去				式					Y4A01090404	
標識板撤去(添架式標識板) 照明柱・既設標識柱	1			組					SS125 0 *	A=2, B=1, C=1
道路付属物復旧工									Y3A010905	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
自由勾配側溝									Y4A01090505	
				式						
排水構造物工（自由勾配側溝） 側溝規格 縦断用 幅700mm×高 800mm 設計高 720	2			m					SS161 0 *	A=1, B=5, C=6, E=720, F=2, H=1, I=1, J=1, K=2, L=1, M=1, N=1
排水構造物工（自由勾配側溝） 側溝規格 縦断用 幅600mm×高 800mm 設計高 730	10			m					SS161 0 *	A=1, B=4, C=6, E=730, F=2, H=1, I=1, J=1, K=2, L=1, M=1, N=1
排水構造物工（自由勾配側溝） 側溝規格 縦断用 幅600mm×高 800mm 設計高 730	2			m					SS161 0 *	A=1, B=4, C=6, E=730, F=2, H=1, I=1, J=1, K=2, L=1, M=1, N=1
排水構造物工（自由勾配側溝） 側溝規格 縦断用 幅600mm×高 800mm 設計高 753	2			m					SS161 0 *	A=1, B=4, C=6, E=753, F=2, H=1, I=1, J=1, K=2, L=1, M=1, N=1
排水構造物工（自由勾配側溝） 側溝規格 縦断用 幅600mm×高 800mm 設計高 730	2			m					SS161 0 *	A=1, B=4, C=6, E=730, F=2, H=1, I=1, J=1, K=2, L=1, M=1, N=1
切断加工費 600*800型	3			箇所					W0000	
切断加工費 700*800型	1			箇所					W0000	
排水構造物工（蓋版） 市場単価方式 据付（材料費含み）	2			枚					SS162 0 *	A=1, B=8, C=4, D=3, G=1, H=1, I=1

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
排水構造物工（蓋版） 市場単価方式 据付（材料費含み）	8			枚					SS162 0 *	A=1, B=1, C=4, D=3, G=1, H=1, I=1
排水構造物工（蓋版） 市場単価方式 据付（材料費含み）	2			枚					SS162 0 *	A=1, B=1, C=5, D=3, G=1, H=1, I=1
ガードレール				式					Y4A01090506	
ガードレール耐雪型・コンクリート建込 Gr-C3-2B	8			m					SS057 0 *	A=1, B=9, C=3, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1
標識板				式					Y4A01090509	
標識板設置（警戒・規制・指示・路線番号標識） 市場単価方式	1			基					SS116 0 *	B=3, C=1, D=1
地先境界ブロック				式					Y4A01090510	
地先境界ブロック設置 C種（150×150×600） 基礎砕石 有り	2			m					SP4019 0 *	A=1, B=3, C=2, D=1, E=2, G=1, H=1
街路灯				式					Y4A01090512	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
街路灯仮移設復旧									W0000	
仮設工	1			式					Y2A0111	
工事用道路工									Y3A011101	
敷鉄板									Y4A01110106	
敷鉄板設置・撤去				式					S5306	0 *
									A=3	
敷鉄板賃料	99			m2					S5307	0 *
22×1524×3048 1～3箇月									A=2, C=60, D=1, F=3	
水替工	22			枚					Y3A011105	
ポンプ排水									Y4A01110501	
ポンプ排水工 (工事用水中ポンプ)				式					S9727	0 *
常時排水 24時間/日									A=2, B=3	
120以上 450未満 (m3/h)	10			日						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土のう工 仕拵積立撤去	40			袋					S2951 A=1	0 *
ポンプ設置・撤去	1			箇所					S4801	0 *
直接工事費										
役務費									Z0003	
駐車場使用				式					W0000	
運搬費	3			箇所					Z0004	
仮設材運搬費				式					Y2ZZ0404	
仮設材等運搬費（往復） 製品長12m以内	18.4			t					S3107 A=2, B=1, C=2, D=1	0 *
仮設材等の積込み、取卸し費 往復分	18.4			t					S3108 A=3	0 *

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設材等運搬費（往復） 製品長12m以内	17.6	t							S3107 0 *	A=2, B=1, C=2, D=1
仮設材等の積込み、取卸し費 往復分	17.6	t							S3108 0 *	A=3
安全費									Z0009	
安全管理員				式					Y2ZZ0903	
交通誘導警備員 昼間勤務 実働 8時間	1			人日					S7192 0 *	A=1, B=0, C=2, D=10
イメージアップ経費				式					Z0012	
デザイン工事看板 県内産間伐材使用 W=800・H=900	2			基					W0000	
共通仮設費 （率分）				式						
共通仮設費計										

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費						
現場管理費計			式			
工事原価						
一般管理費等						
工事価格			式			
消費税等相当額						
請負対象工事費			式			
工事価格計						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	単	価	金	額	備	考
消費税等相当額計									
請負対象工事費計									

施工内訳表

[名 称] 埋設テープ [規格1]			[規格2]			1	m	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
埋設テープ	1	m			W0000			
単位当り	1	m						

V3166

施工内訳表

施工 第0-0002号表

頁0-0019

[名称] マンホール蓋・受枠 T-25 (除雪型) 1 個 当り					
[規格1] φ600		[規格2]			
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール蓋・受枠 T-25 (除雪型) φ600	1	個			W0000
単位当り	1	個			

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K0121	199		36	積み込み、取卸し費（仮設材等）	その他機械損料
2	K0122	199		36	積み込み、取卸し費（仮設材等）	その他機械損料
3	M1232	193			タンパ	路盤舗装等損料
4	MH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
5	MH140	190			バックホウ	掘削積込機損料
6	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
7	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
8	R2006	12			普通作業員	普通作業員
9	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
10	R2011	15			とび工	とび工
11	R2038	31			左官	左官工
12	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
13	T1415	186		2	2号 マンホール斜壁	マンホール
14	T3002	66			軽油	軽油
15	T3004	65			ガソリン	ガソリン
16	T3673	58		40	万年土のう	その他材料
17	T4026	92		1.38	生コンクリート	生コン 180kg
18	T4027	92		1.63	生コンクリート	生コン 180kg
19	T4051	53		8.5979	粒調砕石	粒度調整砕石
20	T4090	52		81.0195	再生砕石	クラッシュラン
21	T4278	108		8	道路用側溝蓋(車道用,自由勾配)T-25	側溝蓋
22	T4279	108		2	道路用側溝蓋(車道用,自由勾配)T-25	側溝蓋
23	T4350	126		18	ヒューム管(外圧管1種B形管)	HP φ 600以上
24	T6366	121		16	自由勾配側溝 (T-25t)	自由勾配側溝
25	T6373	121		2	自由勾配側溝 (T-25t)	自由勾配側溝
26	T6387	147		2	グレーチング細目 (自由勾配側溝用 T-25t)	グレーチング
27	T7000	1		36	運賃	測量用材料
28	T7041	44			トラッククレーン賃料	建設機械賃料
29	T7086	44			ラフテレーンクレーン賃料	建設機械賃料
30	T7276	190			バックホウ賃料	掘削積込機損料
31	T7278	190			バックホウ賃料	掘削積込機損料
32	T7378	44			発動発電機賃料	建設機械賃料
33	T7482	44			工用水中ポンプ	建設機械賃料
34	T7484	44			工用水中ポンプ	建設機械賃料
35	T7655	180			敷鉄板賃料 1～3箇月	仮設材損料
36	T7664	180		22	敷鉄板 整備費	仮設材損料

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	T9352	186		2	2号 マンホール底版	マンホール
38	T9364	186		2	2号 マンホールく体ブロック	マンホール
39	T9405	186		2	組立式マンホール調整リング	マンホール
40	T9411	186		2	組立式マンホール調整金具	マンホール
41	TAK08	189		5	アスファルト廃材処理費	投棄料
42	TCM08	189		6	コンクリート廃材処理費	投棄料
43	TCY08	189		1	コンクリート廃材処理費	投棄料
44	TH121	200		6	構造物とりこわし工	
45	TH122	200		1	構造物とりこわし工	
46	TH175	200		16	排水構造物工 自由勾配側溝	
47	TH176	200		2	排水構造物工 自由勾配側溝	
48	TH183	200		12	排水構造物工 蓋板	
49	TH247	200		1	取付管布設工および支官取付工	
50	TH277	999		2	組立マンホール設置工 2号	その他
51	TS313	200		8	ガードレール 塗装・路側用	
52	TS364	200		8	ガードレール撤去工・Co建込用	
53	TS959	200		1	標識板設置 既製品 設置手間	
54	TS986	200		1	標識板撤去 添架式標識板	
55	TST12	189		71	公共用残土仮置場（搬入）	投棄料

管 渠 数 量 計 算 書

【市道魚津臨港線】 地域下水道

管路区分	管路番号	マンホール番号	管種	管径	区間距離	管布設延長		硬質塩化ビニール管				リップ付硬質塩化ビニール管				遠心力鉄筋コンクリート管				管径	備 考
						控除	延長	片受直管	直管	可とう性マンホール継手	副管用マンホール継手	片受直管	直管	可とう性マンホール継手	副管用マンホール継手	片受直管	直管	可とう性マンホール継手	副管用マンホール継手		
						m	m	本	本	個	本	本	本	個	本	本	本	個	本		
mm	m	m	m	本	本	個	本	本	本	個	本	本	本	本	個	本	mm				
地域下水道	富山歩道	布設替下流M 布設替上流M	遠心力鉄筋コンクリート管 HP	700	18.56	1.20	17.360								7	1	HP用 1	HP用 1	HP φ700		
計					18.56	1.20	17.360								7.0	0.5	1.0				

組立式2号マンホール計算書

【市道魚津臨港線】 地域下水道

管路番号	マンホール番号	マンホール深 m	底マン 版深 m	マンホールブロック																		底 部 工 ヶ所	削孔		副管		備考		
				底版 個	く体ブロック					直壁				斜壁			調整リング			調整金具			蓋・蓋受		管 径 mm	箇 所 数		管 径 mm	箇 所 数
					90	120	150	210	240	90	120	150	180	30	45	60	5	10	15	25	45		T-14	T-25					
					cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	mm	mm								
富山歩道	布設替下流M	2.420	2.720	1					1							1	1			1	1	1	700	1					
〃	布設替上流M	2.420	2.720	1					1							1	1			1	1	1	700	1					
合計		2		2					2							2	2			2	2	2		2					

組立式2号マンホール底部工計算書

【市道魚津臨港線】 地域下水道

※内径1200mm 円形

管路番号	マンホール番号	マンホール深 m	マンホール底版深 m	マンホールステンツプル m	管径 m	インバート処理				基礎工			備考
						インバート高さ m	マンホール底版面積 m ²	インバート体積 m ³	モルタル塗り上 m ²	RC-40			
										10cm m ²	15cm m ²	20cm m ²	
富山歩道	布設替下流M	2.420	2.590	0.020	0.700	0.880	1.131	0.071	1.610			1.65	
〃	布設替上流M	2.420	2.590	0.020	0.700	0.880	1.131	0.071	1.610			1.65	
合計		2				1.760	2.262	0.142	3.220			3.30	

仮設工計算書

【市道魚津臨港線】 地域下水道

路線 番号	人孔 番号	路線 延長	平均 掘削深	建込簡易土留							鋼矢板打・引抜			金属支保工		水替工 (ウエル) m	摘要	
				H=1.5未満 m	H=2.0 m	H=2.5 m	H=3.0 m	H=3.5 m	H=4.0 m	H=4.5 m	H=2.0 m	H=2.5 m	H=3.0 m	2段 m	3段 m			
富山歩道	布設替下流M 布設替上流M	18.56	2.68												18.6	18.6		
合計		18.56													18.6	18.6		
平均掘削深															2.68			

交通誘導員数量計算書

作業	規格	単位	作業量	単位作業量 (単位/日)	計算式		実日数	配置人数 (人)	人数 (人)
					数量	単位作業量			
舗装版切断	t=15cm以下	m	53		53	÷		2	地域
舗装版掘削積込	t=15cm以下	m ²	100		100	÷		2	地域
不陸整正		m ²	51		51	÷		2	地域
路盤工	下層路盤	m ²	38		38	÷		2	地域
路盤工	下層路盤	m ²	11		11	÷		2	地域
路盤工	上層路盤	m ²	38		38	÷		2	地域
路盤工	上層路盤	m ²	11		11	÷		2	地域
舗装復旧	t=5cm	m ²	100		100	÷		2	地域
区画線設置	外側線	m			0	÷		2	地域
区画線設置	横断歩道等	m	9		9	÷		2	地域
計									

作業	仮設区分		延長 (m)	計算式		実日数	配置人数 (人)	人数 (人)
	材料	H(m)		実要日数	一縮切延長 延長			
管路布設 (一連作業)	建込簡易土留							
	建込簡易土留	3.0	18.5		÷ 30 × 18.5		2	地域
計								
合計								
				誘導員種別				
				交通誘導員A		0日		0人
				交通誘導員B		3日	2人	6人
				この他考慮		7日	2人	14人

流雪溝取壊・復旧工

1式当り (15.37 m当り) 数量計算書

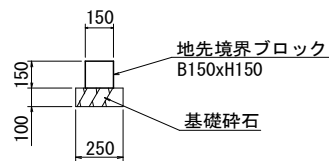
名称	算式	単位	数量	m当り数量
自由勾配側溝				
B600 x H800型	L =2.000m	本	5.00	
	L = 斜切 0.890/1.460	本	1.00	
	L = 斜切 1.460/1.110	本	1.00	
	L = 斜切 0.740/1.080	本	1.00	
B700 x H800型	L =2.000m	本	1.00	
自由勾配側溝蓋				
グレーチング				
車道 B600用 細目	L =0.50m	個	2.0	
自由勾配側溝蓋				
コンクリート				
車道 B600用	L =0.50m	個	8.0	
車道 B700用	L =0.50m	個	2.0	
既設流雪溝取壊し				
無筋コンクリート	A1=1.00 x 0.92 - 0.70 x 0.77	m2	0.38	
	A2=0.90 x 1.07 - 0.60 x 0.92	m2	0.41	
	V =0.38x延長2.00+0.41x延長13.37	m3	6.24	
床版	V1=1.00 x 0.15 x 2.00	m3	0.30	
	V2=0.90 x 0.15 x 2.91	m3	0.39	
	計	m3	0.69	

地先境界ブロック取壊・復旧工

1式当り (2.20 m当り) 数量計算書

略 図

地先境界ブロック



名 称	算 式	単 位	数 量	m当り数量
設計延長	地先境界ブロック取壊・復旧工			
	L =2.20	m	2.20	
基面整正	A =幅0.25 x 延長2.20	m ²	0.55	0.25
基礎材 (t=100mm)	A =幅0.25 x 延長2.20	m ²	0.55	0.25
地先境界ブロック B150 x H150	L =2.200	m	2.20	
既設境界ブロック取壊し 無筋コンクリート	V =0.15 x 0.15 x 延長2.20	m ³	0.05	

舗装取壊・復旧工

1式当り 数量計算書

略 図

名 称	算 式	単 位	数 量	m当り数量
舗装版取壊し工				
アスファルト t=10cm	$A = 15.70 + 17.80 + 66.10$	m ²	99.60	
	$V = 99.60 \times 0.05$	m ³	4.98	
舗装版切断工				
アスファルト t=10cm	$L = 4.00 + 7.50 + 4.50$	m	16.00	
舗装復旧工1	市道仮復旧			
表層工 (密粒度AC13F t=3cm)	$A = 15.20$	m ²	15.20	
上層路盤工 (粒調碎石M-40 t=32cm)	$A = 10.90$	m ²	10.90	
下層路盤工 (RC-40 t=30cm)	$A = 10.90$	m ²	10.90	
舗装復旧工2・3	歩道(自動車乗入口)本復旧			
表層工 (密粒度AC20F t=5cm)	$A = 18.30 + 66.60$	m ²	84.90	
上層路盤工 (粒調碎石M-30 t=10cm)	$A = 10.90 + 27.00$	m ²	37.90	
下層路盤工 (RC-40 t=10cm)	$A = 10.90 + 27.00$	m ²	37.90	

